

式 辞

(令和6年度 神奈川県立 横浜瀬谷高等学校 第2回卒業式)

ただいま、309名の皆さんに卒業証書をお渡ししました。まずは、卒業生の皆さんに心からお祝いを申し上げたいと思います。「皆さん、ご卒業おめでとうございます。」

そして、保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。さまざまな困難を乗り越えて、立派に成長された姿を皆様とともに喜びたいと思います。

また、ご来賓の皆様方には、ご多用の中ご臨席を賜り、誠にありがとうございます。本校のことをいつもお心にかけていただき感謝に堪えません。職員を代表いたしまして厚くお礼申し上げます。

さて、皆さんの多くは、すでに18歳になっていると思います。ヒトは親や周りの大人たちが育てなければ死んでしまう未熟な状態で生まれてきます。皆さんは誕生日に親からお祝いされると思います。でも見方を変えれば、出産という大変なご苦労されたお母さんにとっての記念日と言えませんか。本日の卒業式は、保護者の方々にとって、子育てという18年間にも及ぶ偉大な仕事の一つのゴールと言えるのではないでしょうか。生徒の皆さんには、心からの感謝の気持ちを伝えてほしいと思います。

皆さんにお伝えしたい2024年のNEWSが二つあります。一つは、産業革命前と比較して、世界の平均気温を1.5度以内にするというパリ協定の目標が2024年に超えてしまったことです。二つ目は、2024年の国内の外国人も含む出生数（子供が生まれた数）が過去最少の約72万人だったことです。1947年の第1次ベビーブームは約270万人。1973年の第2次ベビーブームが約209万人。そして皆さんのが生まれた2006年が約109万人です。この二つのニュースに共通しているのは、研究者の想定を超えていているということです。

では、今から10年後2035年の未来は、どうなっているでしょうか。想像して見てください。29歳になっているかと思います。本来授業ならば、ここでグループワークやペアワークで意見を交換する時間ですね。

ChatGPT などの生成 AI にも質問してみましたが、古いデータからの引用や明らかな間違いもありましたので、色々なデータを調べてみました。あくまで参考例として考えてください。

先ほども話しましたが、世界の平均気温が、産業革命前と比較して $+1.5^{\circ}\text{C} \sim +2.0^{\circ}\text{C}$ となり、中東、インド、アフリカ、米国西部など夏の気温が 50°C を超える地域が拡大する。夏の北極海の氷がほぼ消える。ハリケーン・台風・豪雨など気象災害が激化するという予測でした。

生物多様性については、絶滅する種が増加し、サンゴ礁の消滅や、アマゾン・東南アジアなどの熱帯雨林の消失の恐れがある。昆虫が減少し、受粉できないために農作物の生産量低下。干ばつ・洪水による農作物被害が深刻化し、食料価格の高騰などが予測されます。

一方日本は、若者の割合が減り、18 歳の人口が初めて 100 万人を割るようです。3 人に 1 人が 65 歳以上という社会の高齢化がさらに進み、1 つの会社で働く「正社員」という概念が薄れ、複数のプロジェクトや企業で働くスタイルが一般的になり、終身雇用はほぼ消滅するという予測もあります。また、人生 100 年時代が本格化し、29 歳では、「老後」がより遠い未来の話になり、長く働くことを前提にした生き方が求められるようです。この「未来予想図」は、あくまでも予測であり、予想です。実際どうなるかは誰にもわかりません。

皆さんは、「総合的な探究の時間」で大学や企業、地域の方々と地域の社会課題に取り組んだと思います。問題解決能力やゼロからイチを作るといった新たな価値を創造する力は、簡単にはできません。定期テストや共通テストのような正答がないからです。しかし、地域の社会課題の解決に真剣に取り組み、苦しんだ人ほど、大人になっても駆動し続けるエンジンを身につけられるのだと思います。

2 期生の皆さんと出会ってから丸 2 年が経とうとしています。授業中は真面目で、おとなしい印象でしたが、陸上競技大会や球技大会、瀬谷虹祭で燃え上がる姿は別人のようでした。さらに引退試合で最後まであきらめずに頑張った選手、それを声の限り応援し続ける皆さんの姿は目に焼き付いています。目黒蓮さんが来た時の体育館で皆さんに写真を取らないでと話した時の興奮は生涯忘れないと思います。皆さんは横浜瀬谷での青春を駆け抜けることができたのではないでしょうか。

高校時代は、人生という大木の幹を形成する時期だと思います。私自身、高校時代の経験が、その後の自分の幹となったと思います。思い出してください。友達とけんかしたり、仲直りしたこと、恋をしたり失恋したこと、部活や行事で辛かったが、頑張ったこと、もちろん先生や家族から叱られたり、ほめられたりしたこと。人への思いやりや優しさ、暖かさといった人として大切なことは、このような人との関わりの中で学んだのではないでしょか。どんなことであれ、真剣にそして本気で取り組んだ経験は、皆さん的人としての幹を太くする源になるのだと思います。

本校の目標は「持続可能な社会の創り手」としてこれから社会で活躍できる力をつけることです。創り手になるというのは、誰かに任せのではなく自分が創るということです。

先ほどの未来予想図は10年と経たずに大きく変わっていくかもしれません。その変化に対応して、心のエンジンを駆動させて、持続可能な未来を皆さんのが創っていってほしいと思います。もちろん「正解」はありません。自分で考え、学び続けて、新しい未来を創っていってください。

卒業おめでとうございます、そして横浜瀬谷高校の2期生として、輝く未来を、幸多き素晴らしい人生を歩んでください。

令和7年3月4日 横浜瀬谷高等学校

校長 小林 幸宏